

広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

9

平成11年
(1999)
月号
NO.514

白紙ひこうき大会

旧大暮山分校
鹿賞山分校

なつわすを思い出のせ
どこまで飛んでゆく紙ひこうき
白い紙ひこうき大会 (8/14: 旧大暮山分校)



特集●介護保険制度（その二）

ここが知りたい

介護保険

八月二十四日から九月十日まで、全地区を対象に介護保険説明会を開催しました。介護サービスの低下や負担金の増加を心配する声を中心に、さまざまな質問が出され、介護保険制度に対する関心の高さを感じました。

今月の特集は、みなさんの疑問にお答えしながら、これからの介護保険について考えてみます。

こんな時申請はどうなるの

Q 十月一日から行われる申請の仕方について教えてください。

A 現在何らかの介護サービスを受けている方は、ヘルパーや民生児童委員などを通して申請書をお渡しします。

今までサービスを受けてなく、初めて申請される方は、役場健康福祉課へ印鑑を持ってお越し

ください。

Q 介護保険制度が始まって、急に介護サービスを受けなければならなくなった場合は、どうなるのですか。

A 八月号で紹介したとおり、申請、調査、審査、認定を受けた後にサービスを開始するというのが通常の流れですが、緊急



の場合は、こうした流れとは別に、サービスの提供を優先させることもできます。

Q 他市町村で既に認定を受けている人が、朝日町に転入した場合、また新たに認定申請をしなければならぬのですか。

公平な調査、審査ができるの

Q 調査員によって、介護度が違ってくることはないのでしょうか。

A 調査は、十分に研修を重ねた介護支援専門員が調査します。また、調査票は全国的に統一されたもので、調査員によって介護度が違ってくることはありません。

もし、認定に不服がある場合は、山形県の「介護保険審査会」に不服申し立てができ、三十日

A この場合、既に認定を受けていることの証明書を役場に提出すれば新たに審査、判定を受ける必要はありません。保険料、サービスは自治体によって異なりますが、認定は全国共通です。

ので受け直す必要はありません。

以内に答えが出るようになっていきます。

Q 寒河江市西村山郡介護認定審査会の委員は、朝日町からも選ばれているのですか。

A 町からは、医師や看護婦など専門家五人が選ばれています。寒河江市西村山郡介護保険認定審査会には、書類はすべて無記名で提出され、公平な審査がなされるよう配慮されています。

こんな時サービスは受けられるの

Q 四十歳から六十五歳未満の人が交通事故で寝たきりになった場合、介護保険のサービスを受けることができるのですか。

A この場合、介護保険のサービスを受けることはできません。四十歳から六十五歳未満の方は、老化が原因とされる十五種類の病気（初老期痴呆や脳血管

疾患など）になって、認定審査で要支援・要介護状態にあると認められた方が介護サービスを受けることができます。

ですから、六十五歳未満の方が交通事故で介護が必要になった場合は、六十五歳になるまでは介護保険のサービスを受けることはできません。



各地区での説明会

もちろん、介護保険に加入していない四十歳未満の方は、寝たきりの状態等になっても介護保険は受けられません。今までどおり、身体障害者福祉制度や医療制度などを利用していただくこととなります。

六十五歳以上の方は介護を必要とする原因が何であれ、サービスを受けることができます。

Q 要介護認定後、すぐに施設に入所したいのですが。

A 施設が空いていれば、原則的に全国どここの施設にでも入ることができそうですが、現在のところ、ふれあい荘をはじめ、近隣施設はどこも入所待ちをしなければならぬ状況です。

自立と認定されたら

Q 現在サービスを受けている人も介護保険の申請をして、審査を受けなければならないと聞きました。

そこで、現在施設に入所している方が自立や要支援と認定され、施設を出なくてはならなくなった場合や在宅で自立の認定を受け、ヘルパーの派遣をしてもらえなくなった場合はどのようになりそうですか。町独自の支援策は何かあるのですか。

A 現行の制度とは全く違うため、現在はサービスを受けていても、介護の必要がないと判定され、介護保険からのサービスを受けられなくなる方も出てくると思われます。

町独自の支援策については、今後十分に検討していきます。

町の保険料はいつ決まるの

Q 町の介護保険料はいつごろ決まるのですか。

A 町が決めるのは、第一号被保険者（65歳以上の方）の保険料です。

町の介護保険料を決めるうえで重要な介護報酬額（デイサー

ビスの利用額など）が、まだ決定されていません。その介護報酬額は、平成十二年一月ごろ正式に決定される予定ですので、町の保険料はその後に決定したとと考えています。

介護保険に該当しなかった方への町独自の支援策については、一人暮らしの方等に対してホームヘルパーの派遣などを考えています。しかしこの場合も、介護保険制度との兼ね合いを考えると、今までは自己負担のなかった方でも、ある程度の負担金をいただくようになると思われます。

Aさんの場合（要介護4と推定）

◆現在のサービス受給状況と負担額（1カ月）

【表1】

サービス種目	回数	単価（円）	事業費（円）	負担金（円）
訪問看護	月2回	7,900	15,800	月額 2,210
訪問リハビリ	月2回	5,300	10,600	
訪問介護（ホームヘルパー）	月3回	7,460	22,380	月額 0
通所介護（デイサービス）	月2回	1,500	3,000	月額 3,000
短期入所（ショートステイ）	月2回（4日間）	6,440	25,760	月額 9,000（2,250円×4日）
合計			77,540	月額14,210 ……………①

◆現在のサービスで介護保険に移行すると

【表2】

サービス種目	回数	単価（円）	事業費（円）	負担金（円）
訪問看護	月2回	5,500	11,000	月額 1,100
訪問リハビリ	月2回	5,500	11,000	月額 1,100
訪問介護（ホームヘルパー）	月3回	7,530	22,590	月額 2,259
通所介護（デイサービス）	月2回	7,750	15,500	月額 1,550
短期入所（ショートステイ）	月2回（4日間）	10,980	43,920	月額 4,392
合計			104,010	月額10,401 ……………②

◆保険料は（第1号被保険者、3,000円と仮定）

【表3】

Aさんご夫婦	65歳以上	町民税非課税世帯	2,250円×（基準額×0.75）2人	年金より天引
合計			4,500円 ……………③	

Aさんの場合は、平成12年4月からは

②サービス受給の負担金10,401円+③保険料4,500円＝毎月の支出額が14,901円と予測され、今までとほぼ同じ金額を支払うことになります。

来年四月からの介護保険導入後はどうなるのか、事例をもとに予測してみました。

ただし、これから紹介する金額については、現時点で厚生省から示されているものをもとにしていますので、必ずしも確定的なものではないということをあらかじめご了解願います。

それでは、介護保険が実施されたら、今までとは介護の現状がどう違ってくるのでしょうか。ともに、現在介護サービスを受けていて、介護保険制度の導入後は「要介護4」の認定を受けるであろう、AさんとBさんの家庭を例にとって見てみます。

Aさんは七十一歳。六十八歳になる妻と二人暮らしです。数年前から病気で寝たきりになり、介護を受けています。

Bさんは八十四歳。八十三歳になる妻と長男夫婦（ともに五十五歳）といっしょに暮らしています。十年前に脳梗塞で倒れ

てからは、妻が面倒をみてきましたが、妻も高齢になり介護が大変になってきたので、現在は長男の妻が会社を辞め、Bさんの介護をしています。

まず初めに、Aさんの場合を見てみましょう。現在Aさんは【表1】のようなサービスを受けていて、毎月一万四千二百十円①の負担金を支払っています。それでは、介護保険が始まったらどうなるのでしょうか。

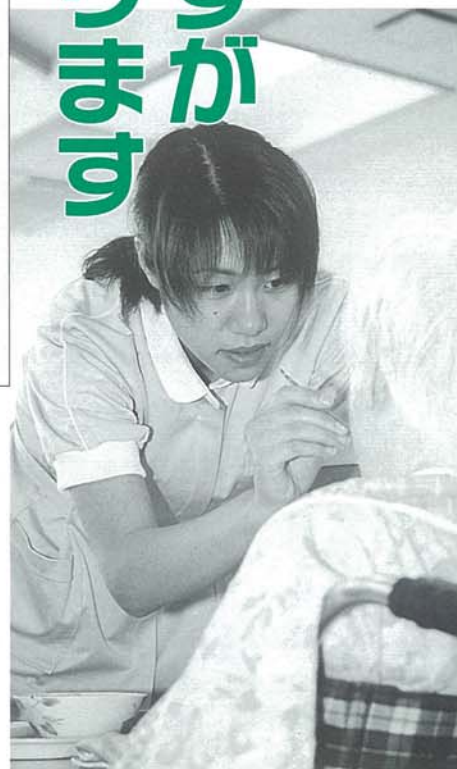
現在受けているサービスをそのまま移行すると【表2】のようになります。その結果、サービスの自己負担金が月額一万四百円②となり、約四千円減ることになります。

では、保険料の面ではどうでしょうか。【表7】のように、第一号被保険者は、所得などの状況により保険料が五段階に分けられます。Aさんの場合は、夫婦とも第一号被保険者で非課税世帯なので減額され、二人で四千五百円③の保険料を納めることとなります。【表3】

Aさんの家庭では介護保険が始まって、月々の負担額が一万四千九百一円と、今までとほぼ同じ金額で介護が受けられます。

さて、Bさんはどうでしょうか。現在Bさんは【表4】のよ

介護保護が始まれば、どう変わるの
あへまでも予想ですが
こうなります



Bさんの場合（要介護4と推定）

◆現在のサービス受給状況と負担金（1ヵ月）

【表4】

サービス種目	回数	単価（円）	事業費（円）	負担金（円）
訪問診療	月1回	7,900	7,900	月額 2,210
訪問リハビリ	月3回	5,300	15,900	
訪問介護 （ホームヘルパー）	巡回型 月32回	1,870	59,840	月額 0
	滞在型 月4回	3,730	14,920	
訪問入浴	月1回	4,500	4,500	月額 0
合計			103,060	月額 2,210④

◆現在のサービスで介護保険に移行すると

【表5】

サービス種目	回数	単価（円）	事業費（円）	負担金（円）
訪問診療	月1回	12,200	12,200	月額 1,220
訪問リハビリ	月3回	5,500	16,500	月額 1,650
訪問介護 （ホームヘルパー）	巡回型 月32回	2,100	67,200	月額 6,720
	滞在型 月4回	5,340	21,360	月額 2,136
訪問入浴	月1回	12,500	12,500	月額 1,250
合計			129,760	月額12,976⑤

◆保険料は（第1号被保険者一人3,000円・第2号被保険者一人1,700円と仮定）

【表6】

Bさんご夫婦	65歳以上	夫婦とも住民税非課税	3,000円×（基準額）2人	年金より天引
Bさんの長男	40歳以上	課税あり	1,700円×1人	会社の医療保険に上乘せし納付
長男の妻	40歳以上	夫の扶養	自分で納める必要なし	
合計			7,700円⑥	

Bさんの場合は、平成12年4月からは

②サービス受給の負担金12,976円+③7,700円＝毎月の支出額が20,676円と予測され、約10倍の金額を支払うことになります。

◆第2号被保険者（40歳以上65歳未満）の保険料
加入している医療保険によって、保険料の額や計算の仕方が違います。

軽減される方	軽減される方	軽減される方
生活保護の受給者、 老齢福祉年金受給者 で住民税世帯非課税	世帯全員が 住民税非課税	本人が 住民税非課税
基準額×0.5	基準額×0.75	基準額×1.0
基準額×0.5	基準額×1.25	基準額×1.5

うなサービスを受けていて、毎月二千二百十円（④）の負担金を支払っています。介護保険が始まると【表5】のようになります、一万二千九百七十六円（⑤）を負担しなければならなくなります。約一万円も増えるのです。

一方、保険料はというと、夫婦とも第一号被保険者ですが、会社員の長男に課税されているので基準額の月額六千円。長男については第二号被保険者なので千七百円と試算し、夫の扶養となつている長男の妻については、夫が加入している医療保険の被保険者が負担するので、納める必要がありません。世帯で支払う保険料の合計は、七千七百円（⑥）となります。

介護保険が始まるとBさんの家庭では、今までの約十倍、二万六千七百六十円を負担しなければなりません。【表6】

前にも述べたように、これはあくまでも予想ですが、介護保険が始まると、Aさんのように現在とあまり変わらない方、Bさんのように負担が大幅に増える方、さまざまであると思われまふ。介護保険制度は介護を必要としない方でも、四十歳以上であれば全員が加入しなければなりません。また、一生掛け続けなければならず、負担増ばかりが目につくかもしれません。

新たな福祉制度に対するみなさんのご理解とご支援がなければ、これからますます進むであろうこの高齢化社会を乗り切ることができません。

みんなで支え合い、安心して長生きできる社会をわたしたちの手で作上げていかなければならない時代がやってきました。介護保険制度はどのような社会の実現をめざして、平成十二年四月いよいよスタートします。



※写真は本文とは関係ありません

木のぬくもりを感じる

大谷小学校

新校舎が完成

昨年の八月から工事を進めてきた大谷小学校(山澤正明校長・児童数百三十七人)の新校舎が完成し、八月二十四日に入校式が行われました。とても楽しみにしていた新しい校舎での生活がいよいよスタートです。

入校式は初めに、正面玄関でテープカットを行い、新校舎の完成を祝いました。引き続き、体育館で式典が行われ、清野町長が「新校舎で勉強に運動にがんばってください」と激励したのに応え、「新しい校舎で学ぶことができ、とてもうれしいです。これからも大谷小学校の伝統を引き継ぎがんばります」などと、各学年の代表がそれぞれ決意を述べました。

新校舎は秋葉山交遊館に隣接して建てられ、鉄筋コンクリート二階建てで、床面積は二千八百五十四平方メートル。体育館を含めた総工費は約十億円です。内部は木材をふんだんに使っているの、木のぬくもりが感じられます。また、児童が一堂

に集まって給食を食べる食堂とこれまでに比べても利用しやすくなった図書館には床暖房を取り付け、冬でも暖かく快適に過ごせるようにしました。

体育館はバレーボールコート二面、バスケットボールコート二面がとれる広さです。社会体育施設として地域に開放されるため、シャワー室やミーティングルームも完備されています。校舎南側には二十五メートル六コースのプールが完成しました。また、今月末には、校舎北側のグラウンドが完成予定で、北部地区の教育拠点がおおむね整備されることになります。今まで以上に、地域と学校が連携した学習が推し進められていくことでしょう。

トップスイマーが来た

「夢わくわくふれあいタイム」が、スイミングスクールコーチの榎佳苗さんと日本を代表する水泳選手、白田亜弓さん(寒河江高校二年・寒河江市)、保利有希子さん(山形商業高校一年・大谷六)を迎え、九月三日に行われました。これは、一流の選手の泳ぎを実際に見て学ぼうと開催されたものです。

初めに、白田さんと保利さんが見本となる泳ぎを披露。そのダイナミックな泳ぎに拍手と歓声が沸き上がりました。その後、四、五年生が直に指導を受けました。トップスイマーと楽しいひとときを過ごし、子どもたちはとても喜んでいました。



- ①晴れた日には、遠くに月山を望むことができます。
- ②玄関には、大谷小学校の伝統の重みを感じる額縁が。
- ③二階まで吹き抜けの食堂。
- ④正面玄関でテープカットをして入校を祝いました。
- ⑤木材を多用した新校舎。椅子も木のぬくもりを感じるものに。
- ⑥円形づくりの図書館。窓からは遠くの山々が見渡せ心が落ち着きます。
- ⑦体育館の玄関の天井には剣道の絵が。教室棟にはほうき松の絵も描かれています。
- ⑧日本を代表する水泳選手といっしょに新プールの完成を祝いました。

わたしたちが まちを案内します

あなたも

いっしょに活動しませんか



韓国と横浜から訪れたみなさんをビーズファームに案内

エコミュージアム・ガイド（まちの案内人）の会設立総会が8月26日に、秋葉山交遊館に隣接する「ときめき体験館」で行われました。

まちの案内人は、町の自然や文化、産業遺産などの資源（サテライト）を案内してくれるボランティアです。町では昨年からは講習会を開き案内人の養成に力を入れてきました。その結果、17名のまちの案内人が誕生しました。

会ではさっそく、8月31日から2泊3日の日程で、エコミュージアムの視察に訪れた、韓国太白市と横浜国立大学の関係者9名を「大谷の風まつり」、「ビーズファーム」や「世界のりんご園」などに案内し、町のすばらしさを紹介しました。

今回会としては初めて1泊2日のモデルコースを設定し、実地研修を行ったわけですが、今後は町内を案内するさまざまなモデルコースを設定したり、実践の場を数多く設けるなどし、研修を積み重ねていきます。また、新たなまちの案内人の養成も行っていく予定です。

この会のお問い合わせは、役場企画課まで（☎67-2112）

エコミュージアム・ガイド（まちの案内人）

- 会 長 堀 敬太郎（大谷一）
- 副会長 白田 隆（大 沼）
- 会 員 小林 秀子（栄 町） 若月 啓二（西船渡）
- 松田 栄子（栄 町） 宮本 建一（西船渡）
- 清野 寅男（大 町） 安藤 竜二（大谷一）
- 西澤 信雄（西 原） 白田 健二（大谷三）
- 熊谷喜久子（前田沢） 白田 辰雄（大谷五）
- 佐竹 伸一（常 盤） 遠藤 君子（栗木沢）
- 佐竹 恒雄（夏 草） 北村 輝雄（大 沼）
- 齊藤 聖司（長 沼）



宝くじ助成事業で 和太鼓を購入

平成11年度宝くじ助成を受け、宮宿小学区育成会が和太鼓5台（約280万円）を購入しました。今までは太鼓が不足していたため、年に数回行われる演奏のたびに、神社や他の地区から借りてこなければならず大変苦労していました。

新しい和太鼓は「りんごの町の夏まつり」でお披露目され、その勇壮な音に、観客から大きな拍手が送られていました。



保利有希子さん（大谷六） インターハイで準優勝

大谷六の保利有希子さんが、八月十七日から岩手県を会場に行われた、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）水泳競技女子百メートル平泳ぎに出場し、見事準優勝、銀メダルを獲得しました。

保利さんは山形商業高校の一年生で、インターハイ初出場にもかかわらず、予選で自己ベストをマークし、四位で決勝に進出。決勝ではさらに記録を伸ばし、全国大会初の表彰台へ。すでに、今月末から始まる国体にも県代表選手として選ばれており、「今度は優勝目指してがんばります」と、力強く話してくれました。

日を追って

～朝日分署密着ルポから～

9月9日は救急の日。

昨年の救急出動件数は178件、搬送した人数は179人です。このことは、おおむね2日に1件の割合で救急車が走り、わたしたち市民の55人に1人が、救急隊のお世話になったことを表しています。

救急の発生状況を見ると、月別ではあまり差がないのですが、曜日は月曜日と土曜日、時間帯は8時から10時、16時から18時がもっとも多く発生しています。つまり、救急車が走るのは、月曜日と土曜日の朝と夕方が多いということになります。

今月のカメラさんぼは、西村山広域消防署朝日分署（佐藤國夫分署長以下署員数14名）におじゃまし、救急隊員の一日をカメラで追ってみました。もちろん、ここは消防署であり、予防査察などの消防業務も日ごろ行っていますが、今回は救急業務に的を絞って取材させていただきました。

それでは、右上から時計回りでご覧ください。



8:25 救急隊の一日は、器具の点検から始まる。万一の出動に備え、車両の点検は欠かせない。



8:30 佐藤分署長を中心に朝の打ち合わせを行う。ここで、前日の朝から勤務していた隊員と交代する。



10:00 午後の作業についての打ち合わせ。救急隊はチームワークが一番大切。



9:00 救急資器材の使用訓練。写真は心臓マッサージや人口呼吸を自動で行う「サンバー心肺蘇生装置」を使った訓練。

救急隊の一



21:00 交替で仮眠をとる。
今のところ救急車の
出動はない。わたし
たちの命を守るため
に、救急隊の夜はまだ
まだ続く。



17:15 夕食の準備。みごとに
包丁さばきにびっくり。



15:30 できあがった看板を分署の前に
設置。

※ 9月5日～11日までの救急医療週間
には、各保育園児が描いた「救急車
の絵展示会」や「救急街頭指導」「救
急講習会」などが行われました。



14:30 救急看板の作成。啓発活動も重要な
仕事。後ろに見える幼年消防クラブ
の消防自動車も手作り。



13:30 心肺蘇生法の指導訓練。救急講習会を前に、
参加者にわかりやすい指導ができるよう、
みんなで話し合いながら進めていく。

まちの話題

① 各種大会成績

クロスカントリー駅伝大会で 朝日町チームが大健闘

全国大会出場の朝日中 惜しくも決勝進出ならず



クロスカントリー駅伝競走大会で
力走する鈴木佳奈美さん（ゼッケン18番）

第2回県市町村対抗ジュニアクロスカントリー駅伝競走大会（団体）が8月8日、蔵王坊平で行われました。大自然の中、1チーム7名（中学生3名、小学生4名）でタスキをつなぎ、健脚を競いました。

朝日町チームは、6月より週一回、朝日中のナイターを利用し、合同の強化練習を行ってきました。その結果、出場44チーム中、男子は1区の桜井豊

選手（朝日中2年）が区間賞を取るなどの活躍で5位。女子も11位というすばらしい成績を収めました。また、クロスカントリー大会（個人）には17名が出場し、自己記録の更新をめざし頑張りました。来月は町民駅伝競走大会が開催されます。ジュニアの走りがとても楽しみです。

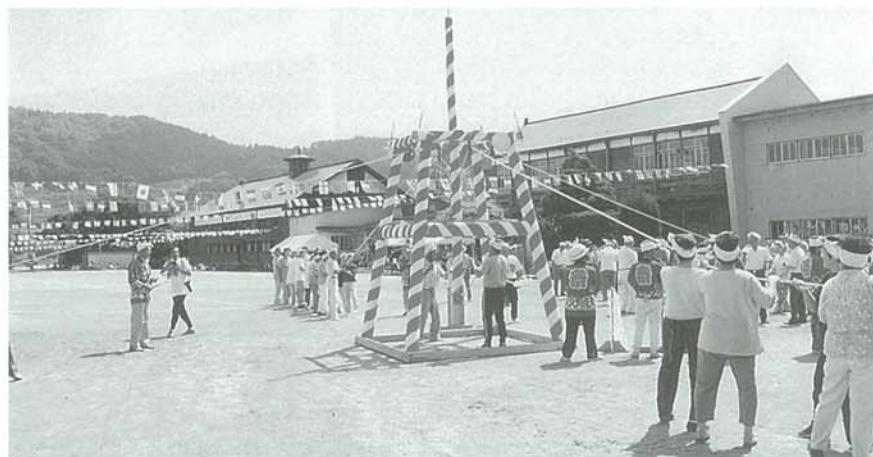
一方、東北中学校総合体育大会は8月8日から秋田市を主会場に開催され

ました。朝日中からは3団体、8個人が出場しそれぞれ健闘しました。

- 第2位 佐藤季莉佳（柔道女子個人）
- 第3位 柔道女子団体
- 第3位 剣道女子団体

また、全国中学校総合体育大会に出場した男子剣道団体、女子柔道団体と佐藤季莉佳さん（柔道女子個人）ですが、いずれも予選で敗れ、惜しくも決勝進出はなりませんでした。

③ 和合土搗きを再現



どんづ 土搗きを後世に 伝えたい

9月5日、和合小学校の運動会で、昔なつかしい土搗きが行われました。「土搗き」とは、家などを建てる時に土台となる地面を柱などで固める工法で、朝日町でも昔はよく行われていました。今回再現した土搗きは、やぐらの中央に柱を据える「やぐら」、亀の子

型の木材を使う「亀の子」、しゃくし型の「蛸」の三種類。これらの工具は、志藤六郎村おこし基金の補助を受けて作られました。

この日は、和合連合区長の佐藤賢一さん（宿）やかつて土搗きを習ったという峯田勝夫さん（小原）、工具を製作した菅井数衛さん（大隅）をはじめ、地区民約80人が参加し再現されました。今後は保存会をつくり、後世に守り伝えていきたいとのことです。

② 前田澤村の歴史出版

村の貴重な歴史本

7年前から編さん委員15人を中心に、古文書の解読や聞き取り調査を行い、作業を進めてきた「前田澤村の歴史」が、このたび志藤六郎村おこし基金の補助を受けて出版されました。

内容は歴史編と生活編で構成されており、お堂や石碑、昔の前田沢や宮宿地区の世情などを絵や写真を使い、くわしく紹介しています。

後世に伝える価値ある村の歴史辞典。区民以外の方にも4,000円で頒布します。ご希望の方は、前田沢公民館長の長岡良太郎さん（☎67-3430）まで



⑤ 朝日中学生が車いすマップを作成



車椅子から町を見る

体の不自由な人にとって、商店や公共施設は使いやすいのだろうか——。朝日中2年生25人が車椅子マップ（地図）作りに挑戦しました。

9月7日町中央公民館で、朝日病院の清野敏秀さんから車椅子の取り扱いやマップ作りの説明を受け、さっそく4班に分かれ宮宿商店街へ出発。

車椅子に乗った生徒たちは、勝手に違うのか少し不安げな様子。段差のある商店の玄関では、高さを計測し車椅子を持ち上げて入りました。店内では通路の幅やどの商品まで手が届くのかなど熱心にメモを取っていました。

生徒たちは「玄関は段差があり一人では無理だ」「道路のどこぼこ坂道はとても怖い」など、普段はとても気付かないことを感じたようでした。

④ 白い紙ひこうき大会

幼い日を思い出し…

8月14日、「白い紙ひこうき大会」が旧大暮山分校で行われました。

この大会は「木造校舎の持つ意外な可能性や魅力を感じてもらいたい」と、町内に住む20～30代の若者でつくる「おもしろ塾」が主催しました。当日は分校の卒業生や町内外から訪れた家族連れなど約60人が参加し、飛距離や飛び方の優雅さを競い合いました。

校舎の二階から気持ち良さそうにふわりと飛んでいく紙ひこうき。それを見つめる参加者は、どこか懐かしい風景を思い出しているようでした。



⑦ 最上一平氏講演会

郷土が生んだ 児童文学者

町内出身の児童文学者、最上一平さんを迎え『わたしと作品』と題した講演会が9月3日町中央公民館で行われました。村山地区図書館職員研修会として開かれたもので、関係者のほか町民約100名も参加し、郷土が生んだ児童文学者の話に熱心に耳を傾けました。



最上さんは昭和32年上郷生まれ。現在は東京にお住まいです。デビュー作『銀のうさぎ』で第18回日本児童文学者協会新人賞を受賞。この作品は、最上さん自身の幼い日の体験をもとに書かれた作品で、暖日山や昭和橋など馴染みのある名称が登場します。作品はほかに、『かみなり雲がでたぞ』『なまず』『おおきなさかな』などがあります。

講演で、最上さんは「児童の凶悪事件などが増えてきました。これは、子どもたちだけの問題ではなく、私たち大人や社会の問題でもあります。わたしの経験から言っても、子どものころの原体験はとても重要で、かえがたいものです。だから、人のやさしさや豊かさを感じる体験をたくさん持たせることはとても大切なことだと思います」と語ってくださいました。

⑥ 西部地区スポーツフェスティバル

800人のパワーが大結集

西部地区の活性化と親睦を図ることを目的に、毎年開催されている西部地区スポーツフェスティバル。8月22日、西部公民館周辺を会場に開かれ、子どもからお年寄りまで約800人が参加し、5種目に熱戦を繰り広げました。

グラウンドゴルフの参加者は、でこぼこな地面に四苦八苦。「一杯飲んでねがら、上手ぐ入らねなだ」との声も聞かれ、周囲の笑いを誘っていました。優勝は次のとおり。

■グラウンドゴルフ／石須部 ■インディアカ／夏草
■ビーチバレーボール／夏草 ■輪投げ／常盤
■ソフトボール／太郎二・能中



みんなのひろば



大谷三ノ

長岡

美千代さん

智之さん



新婚さん

お二人は中学校の同級生。しかし、中学生の時は話もしたことがなく、結婚するとは夢にも思っていなかった。そんな二人が今年の正月、町内の友人同士が集まった飲み会の席で再会。「こんなにかわいい子同級生にいだっけの」「長岡くんって同級生にいだっけ?」というように、二人とも初対面のような印象だったとか。それから、スポーツ好きで人を笑わせることが得意な智之さんに、美千代さんも心引かれ交際がスタートしました。

付き合い始めた時はお互いに学生でしたが、この春にはそろって就職、社会人に。成人式も二人で仲良く出席しました。「何をするにもいっしょ」の二人。智之さんからのプロポーズにも美千代さんは迷わずOKしたそうです。「明るくフレンドリーな家庭を築いていきたい」と話すお熱い新婚さんでした。

お幸せに!

すてきな仲間たち

(52)

森重流砲術伝承会

今、よみがえる

江戸幕府の古式砲術



平成6年に会員2人から始めた伝承会です。森重流砲術は防州(山口県)出身の森重都由が流祖です。彼は江戸幕府お抱えの砲術家でした。

森重流砲術は内容が豊かで、大砲術まであるのですが、この会では古式砲術に限りて伝習しています。

今年は会員が6人。月1回の稽古会。失われてゆく江戸文化の継承を目標としている仲間です。稽古では礼儀を重んじ、自分を磨くことを心がけています。昨年、当町でも正式に火薬使用許可がでて、空砲が打てるようになりました。他県の長浜や長篠にも招待され演武しました。米沢藩古式砲術のように、この砲術が町に根づくことを願っています。

(代表 永井正之 ☎67-3957)

「クイーンズ海流」 佐江衆一 著
香港島付近を根城にする海賊時珍は、日本人の祖父伝来の剣で大國の陰謀に独り立ち向かう。アヘン戦争前後の香港・ロンドン・日本を舞台に歴史の激流が渦巻く海で命を賭して生きた男を描く冒険歴史小説。

「脳死ドナーカードを書く前に読む本」 水谷弘 著
法律に基づく脳死移植が行われ、臓器提供は私たちの切実な問題となった。これをどう考えればよいのか、基本的な問題をわかりやすく解説する。

「THE「の」叩き」 群ようこ 著
通販の怪しげな商品に心が動いてつい買ってしまう私。ところが、母が突然買ったのは何と土地だった。復縁リング、チーマーVSおやじ、すっぱんぼんでマッサーなどなど、くすぐすとふむむ満載エッセー。

「転ばぬ先の介護ハンドブック」 山井和則・斎藤弥生 著
二十一世紀に誰もが直面する大問題である「介護」について、介護問題の第一人者がその心得を説き、具体的な介護サービスの種類と適切な利用法を紹介。介護保険制度の基本を解説する。



今月のおすすめ
町立図書館新刊案内

今月の新刊

▶長助の女房一御宿がわせみー(平岩弓枝)▶はじまりの記憶(柳田邦男)▶市民活動時代のボランティア(小谷直道)▶誕生石物語(木崎さと子)▶十四歳漂流(薄井ゆうじ)▶恋占い(赤川次郎)▶沈まぬ太陽3・4(山崎豊子)▶わたしのグランパ(筒井康隆)▶草原の椅子上・下(宮本輝)▶閉ざされた心との対話(河合肇雄)▶父高田好胤(高田都耶子)▶王妃の離婚(佐藤賢一)▶ビーの話(群ようこ)▶シギラの月(藤川桂介)

(12)



鈴木 欣一さん
(西 町)



ひとことトーク

地域で支えあう長寿社会

～西町長寿クラブの活動～

これから、ますます高齢化が進むわけですが、地域で触れ合いながら、お互いに支え合って、いつまでも元気で楽しい人生を送りたいと願っています。

普段の生活の中で、地域に住む高齢者が互いに交流し確かめ合い、楽しく過ごそうという目的が認められ、町から「生き生きデイサービス事業」の指定を受けました。

西町長寿クラブでは「クリーン作戦」や「芋煮会」などのほかに、今年から毎月一回、西町公民館で「お茶飲み会」を行っています。日中家に閉じこもりがちな会員が、お茶を飲みながらしゃべり、みんなと接することにより、ストレスを解消しようということで始めました。特に目的はなくても、浪花節や唱歌のレコード鑑賞をしたり、世間話をしながら、楽しいひとときを過ごしています。

若者の地元定着を

すすめるよう

高校生が町内の企業見学

左沢高校に通う、町内の高校二年生を対象にした職場見学会が、九月三日行われました。これは、町内企業を理解してもらうとともに、労働力の地元定着を図っていくことをねらいに、町雇用対策協議会が主催したものです。

はじめに(株)朝日相扶製作所を見学。「高校生と社会人とはまるつきり違う。社会人になれば、自分の責任が増し、厳しさを感じるだろう。今からそれに負けない精神力を養って欲しい」と、阿部社長から激励を受けました。その後、(株)マイニットを見学。参加した三十人は、働くことの厳しさやすばらしさを直に学んだようです。



阿部社長の話を熱心に聞く

ぐに就職した人は、わずか七人でした。今後このような事業を行い、町全体で、町内企業への就職を積極的にPRし、若者の地元定着をすすめていかなければなりません。

町民の声

みなさんからのお便りでつくるコーナーです。町に対する意見や要望、みなさんのまわりのできごとや話題、日ごろ感じていること、イラスト、質問などお待ちしております。

● 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場総務課文書広報係
あ Eメールアドレス
て asahif21@sm.rim.or.jp
先 朝日町ホームページアドレス
http://www.etos.co.jp/~asahimati/

ごみの分別について

ご みの分別にもだいぶ慣れてきたのですが、食べ物、飲み物以外の缶やびん（ペンキの缶や化粧品空きびんなど）は、燃やせないごみとして赤文字袋に入れるのですが、缶やびんという資源ごみのようで、赤紙を貼られ残されるのではと心配になります。

また、電気製品も袋に入る物は粗大ごみでなくてもよいと聞きました。電気炊飯器なども大丈夫なのでしょうか。

【匿名希望】

答 ごみの分別につきましては、ご協力いただき本当にありがとうございます。

ご意見のとおり、資源ごみ（青文字指定袋）は飲料・食料品、すなわち口に入れることができる物の缶とびんのみに限られています。

食用油の缶（一斗缶まで）は資源ごみです。

びんのふたは、中ぶたに不燃物の入っているものがあるため、「ふた

類」はすべて燃やせないごみをお願いします。

粗大ごみは、指定ごみ袋に入らないものが対象です。小型家電製品類で赤文字指定袋に入る物であれば、「燃やせないごみ」として出してください。

回収業者の方が全部の袋をチェックしております。袋には名前を必ずご記入下さい。集積所が狭くて大変ですが、資源ごみと燃やせないごみは収集車が異なるため、各種分別に積み重ねて置いて下さるようお願いいたします。

また、回収後に自分の出した袋が残っていないか、確認もお願いいたします。なぜ残されたか分からない時は、役場の生活環境係（☎67-2119）にお問い合わせください。

【町民課】



県高校生ボランティア活動賞を受賞

志藤 里美さん
(能 中)

県高校生ボランティア活動基金が昨年度募った体験リポート。この度、優秀な八作品（応募総数四十六作品）に活動賞が贈られました。この賞は、県内でボランティア活動をしている高校生を励まそうという趣旨で、毎年贈られているものです。

今回受賞した志藤さんは現在大学一年生。昨年まで町の高校生ボランティアサークル「とちつぽ」で活動していました。志藤さんのリポートは、昨年の十二月二十三日、サンタクロースになつて町内の子どもたちの家を訪問した体験を書いたものです。その内容は、七人の仲間と楽しく準備をしていたものの、当日の人手不足という問題に直面。何とか成功させたいとの思いから、中学校に呼びかけ協力をお願いしたところ、予想を超える参加があった。大人たちも加わり、たくさんの方の協力の

おかげで無事成功に終わることができた。訪問先の子どもたちの喜ぶ姿、笑顔がとてもうれしく、やってよかったというもので、最後にこう締めくくっています。

私はとちつぽの活動の中で、人との出会いがとても楽しい。人と出会うと、そこでふれあいのあたたかさを感じる。学ぶことがたくさんある。今回も多くの人たちとふれあい、私はとても楽しかった。

ボランティアというと偽善的なイメージをもたれる不安がある。だから私はボランティアという言葉を使うのが好きではない。しかし、これは仕方ないことなのかもしれない。自己満足と思われたって、全く違うわけではない。だからやっぱり、人目を気にせずに自分のやろうと思うことをやるのが一番いいのだと思う。今、指一本ででき



■ 8月1日～31日届出



すこやかに

(出生届)

区名	出生児氏名	保護者名
大町	鈴木 百音	俊一
中沢	堀 博道	浩一



やすらかに

(死亡届)

区名	死亡者氏名	世帯主
大谷五	白田 志ん	利幸
水本	岡崎 チヨ	光夫
大船木	佐藤 みよし	峯男
西町	加藤 平助	敏弘
元町	柴田 茂子	栄三郎
夏草	阿部 喜兵衛	美喜雄
松程	佐竹 孝子	セイ子
本町	渡邊 為之助	宏一
大沼	小林 昭次郎	範男
助ノ巻	鈴木 とめ	岩吉
八ツ沼	小松 稔宗	斎治

●掲載を希望しない方は、お届けの際に
お申し出ください。

人口と世帯数

●平成11年8月31日現在

人口	9,664(減 17)
男	4,797(減 9)
女	4,867(減 8)
世帯数	2,595(減 2)
() 内前月比	



【応募方法】
正解を「広報あさひまち」の

③郷土が生んだ児童文学者「〇〇一平」さん
②和合地区で再現された家などを建てる時に地固めをする工法「〇搗き」
①左下の写真、八百人が大集合「〇〇地区スポーツフェスティバル」

図書券
が
当たる

広報
クイズ

【問題】①左下の写真、八百人が大集合「〇〇地区スポーツフェスティバル」
②和合地区で再現された家などを建てる時に地固めをする工法「〇搗き」
③郷土が生んだ児童文学者「〇〇一平」さん
【七月号の答え】
①防災 ②カナダ ③ニール
【応募者総数】十四人
【七月号の当選者】白田大地さん(大谷四)、佐竹秀夫さん(松程)、安藤秀幸さん(新宿)

くらしの知恵袋 ③⑩



つるむらさきのフルコース

健康野菜として注目をあびている「つるむらさき」を材料に、シルバーアグリ「さむがい」(6月号をご覧ください)などが主催する試食会が、9月10日に中央公民館で行われました。

その中で好評だった料理を紹介します。

つるむらさきとしめじの炒め物

【材料：4人分】

つるむらさき200g(5～6本)、しめじ1パック、ホタテ貝柱200g、サラダ油大さじ2、塩小さじ1/4、合わせ調味料(オイスターソース大さじ1、酒大さじ1、スープ又は水大さじ1、醤油小さじ1、砂糖小さじ1/3、片栗粉小さじ2)

【作り方】

- ① つるむらさきは洗って、水気をよく切り大きい葉はちぎって別にし、茎は4cmに切る。
- ② しめじは石づきを切り落として2本ずつにばらしておく。
- ③ ホタテ貝は3枚ぐらいの輪切りにしておく。
- ④ 中華鍋に油を熱して、塩を入れ強火にして、ホタテ貝、つるむらさきの茎を入れてよく炒める。1本食べてみて、ほぼ火が通ったら、しめじを加えて、更にちぎっておいいた葉を加え、緑色が鮮やかになる程度にサッと炒め合わせる。
- ⑤ 合わせ調味料をよく混ぜ合わせて全体に回しかけ、手早く炒めて仕上げる。

あなたもぜひお試しください。

るボランティアというCMがある。私はこのCMがとても好きだ。このCMは、ボランティアは特別なことではないと改めて感じることが出来る。これは私の理想だ。これからも私は、こ

ういう社会を目指して生きていきたいと強く思う。
「とちっぽ」での活動は大きな財産になったという志藤さん。みなさんも輝く高校時代にこのような体験をしてみませんか。



「町民大運動会」

合併間もない昭和30年10月5日、第1回町民大運動会が豊龍グラウンドで開催されました。6時間に及ぶ競技の1コマ「リンゴ皮むき競争」。1万人の大観衆が一堂に会したと当時の町報は伝えています。

(写真提供 落合登喜雄さん・大町)

20世紀を
ふりかえり1枚の写真

町交通安全 町民大会を開催

子どもからお年寄りまでみんなが参加し、交通事故のない町をつくりましょう。

■期日 九月三十日(木)

■時間 午後三時～

■場所 パレード・宮宿商店街

大会・役場前駐車場

(雨天時は町民体育館)

心のやすらぎを プレゼント

(社)寒河江法人会青年部会の社会貢献事業「西村山心のやすらぎプレゼント」の贈呈式が九月八日に行われ、ふれあい荘に観葉植物四鉢、明鏡荘に冷暖水器一基(それぞれ八万円相当)が贈られました。

この日は、朝日支部長の鈴木徳博さん(本町)をはじめ九人の会員が施設を訪問し、各荘長に手渡しました。入所者らは心のこもった贈り物に大変喜んでいました。



テレビで「〇〇二十四時」という番組が時々放送される。わたしはそういった類いの番組が好きでよく見る。特に救急二十四時は、普段の生活では体験できないようなことが見られ、ハラハラドキドキさせられるし、何と言っても、使命感に燃えている隊員の姿がかっこいい。消防署……。なんとなく入りづらい、厳格で規律正しい男の世界という雰囲気漂うその中

冬 秋 夏 春

編集後記

に入ってみた。

いつ、どんな状況で起きるかわからない救急業務。わたしたちの命を救うために、チームワークを大切しながら、日々訓練に励んでいる隊員の姿がそこにあった。わたしたちには見せない努力があるからこそ、万が一の場合でも迅速で的確な行動がとれるのだ。

日々の努力がかっこいい姿を生むのだと、わたしは思った。(F)